



第69回 渋川摂食嚥下研究会レポート

日時：令和3年4月6日（火）午後7時00分～
会場：渋川ほっとプラザ4階

I 講演：『これで食べられる！正しい 自助具の選択～作業療法の摂食嚥下～』

講師：渋川中央病院

作業療法士 篠原 智仁 氏

もうすぐ70回になる本研究会ですが「作業療法士」の視点から摂食嚥下の講演がなかったとのことで、今回の講演となりました。

会場ではいろいろな自助具の展示・説明を行い、参加者の皆様に見てもらうことができました。（下部写真参照：Web参加者の方、申し訳ございませんでした。今後はみられるように検討していきます！）

質疑応答では嚥下に問題がある場合は言語聴覚士、食事動作に問題がある場合は作業療法士と、それぞれ専門職のかかわり方の説明があり、参考になったかと思います。篠原先生もおっしゃられておりましたが、自分で「食べられる」と「食べられない」のでは患者さん（利用者さん）ご本人の気持ちも違うと思います。正しい姿勢をとること、正しい自助具を選択することで「これで食べられる！」方が増えたらよいなと感じました。



参加者内訳

職種	参加人数
医師	3
歯科医師	5
保健師・看護師	8
ST・OT・PT	12
管理栄養士・栄養士	8
介護員	10
その他	7
合計	53

Web参加※	35ヶ所
--------	------

※1ヶ所で複数名の参加あり

食器具の選び方

	スプーン	フォーク	先割れ スプーン	ナイフ	箸
すくう	◎	×	○	×	×
さす	×	◎	◎	△	◎
切る	△	△	△	◎	○
つかむ	×	×	×	×	◎

食器具にはそれぞれ特性があり、向き・向きな動作がある。
対象者の食形態や献立に合わせて食器具の種類を選定する必要がある。



【講演資料より抜粋】

★次回のご案内(予定)★

第70回 渋川摂食嚥下研究会

日時：令和3年6月1日（火）午後7時～／会場：ほっとプラザ4階・WEB 同時配信予定

テーマ：『免疫のしくみと免疫栄養療法』

講師：老年病研究所附属病院 内科 合田 史 先生
管理栄養士 高橋 千秋 先生

連絡先：渋川地区在宅医療介護連携支援センター

〈住所〉 渋川市渋川（長塚町）1760番地1 渋川ほっとプラザ2階

〈TEL〉 0279-26-3990 〈FAX〉 0279-26-3903

〈E-mail〉 shibu-renkei@mail.gunma.med.or.jp